

No Charity, but a Chance!

保護より働く機会を！

今から60年くらい前・・・日本の状況

「日本の障がい者福祉の父」

中村 裕 医師



- ・障がい者がスポーツをするなんてありえない!
- ・障がい者が社会に出て働くなんてありえない!
- ・障がい者の社会参画!? → 障がい者は保護すべきだ!



「手術よりスポーツ・・・」という考えに基づくりハビリこそが、社会復帰の根源！
そして、障がい者の社会進出のためには・・・
働くことが重要・・・!

世界中の障がいのある人々にスポーツと労働を通して、
社会の中で生きる自信と喜びを与え続けた。

共に生きる社会の実現

障がい者（彼ら）の生きがいを失わせてはいけない・・・

社会で生きる喜びを考えたこともなかったけれど、これからは自分のためにも誰かのためにも一生懸命行動したい。

自分のことはもちろん大切だけど、それだけではなく、人のため、社会のために頑張れる人がすばらしいと思う。そんな人が周りから慕われる。

お互いにきもちよく生活するためには、相手を思いやる必要があると思う。

中村さんのような目標をもって、人のため、社会のために全力を尽くせる大人になりたい。

